

坪井忠二 つばい ちゆうじ 地球物理學者、理學博士。明治二十五年九月九日東京生れ、昭和五十七年十一月十九日歿（一九〇二—一九二二）。大正十五年東京帝國大學理學部物理學科卒。昭和十六年同大教授、二十二年測地審議會會長、二十七年白米學士渡邊政實、日本列島重力分布圖を作成。人類學者坪井止左郎の次男、岩石學者坪井誠太郎の弟。

著譯書『地球』（口述、小林真筆記、昭和八年五月十五日鐵塔書院）  
 『鐵路科學叢書』（一）、『地球物理學』（寺田寅彦共著、昭和八年十一月十五日岩波書店）『岩波全書』（一）、『重力』（昭和十年六月二十日岩波書店）『岩波全書』（一）、『地震の話』（昭和十二年二月二十日岩波書店）『岩波新書』（一）、『わが節』（合著、昭和十二年八月二十日東京出版株式會社）、『地球の構成』（編、昭和二十六年四月二十日岩波書店）『現代の自然觀』（一）、『地球物理學』（編、昭和四十一年四月二十七日岩波書店）『岩波全書』（一）、『新・地震の話』（昭和四十一年五月二十日岩波書店）『岩波新書』（一）、『フアインマン・ライオンマン』フアインマン・ライオンマン 他著、『フアインマン物理学・I—力学』（訳、昭和四十一年六月十一日岩波書店）、『数理解のわがぬ』（昭和四十三年十一月二十日岩波書店）、『力学物語』（昭和四十五年五月二十七日岩波書店）等。

